

機械器具(01) 手術台及び治療台
一般医療機器 泌尿器科用診察台 13969000

タケイ泌尿器科検診台 TU-1900

【警告】

＜使用方法＞

- 1) 本品の作動範囲内に人がいたり、機器類があると危険なため、作動させる場合は、安全を確認してから操作すること。
[破損やけがの原因になる。]
- 2) 支脚器の開脚作動時には、患者の状態に充分注意して、過度の開脚を避けるようにすること。
[けがの原因になる。]

【禁忌・禁止】

＜併用医療機器＞

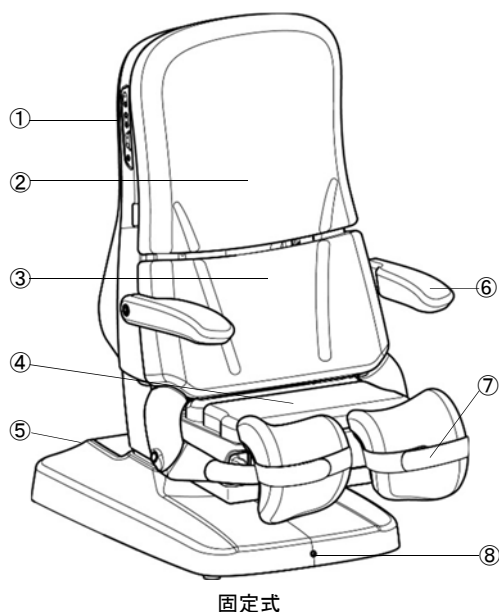
- 1) 高周波を発生する機器を、本品の周辺で使用しないこと。
[医用電気メスや携帯電話等の高周波を発生する機器を、本品の作動中に周辺で使用すると、電波障害による誤作動の原因になる。]

【形状・構造及び原理等】

本品は、型式(回転式、固定式)の違いにより2タイプがある。

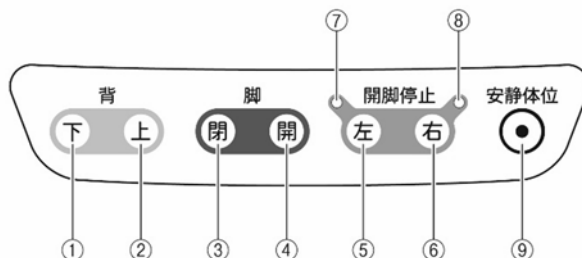
	回転式	固定式
Aタイプ(安静体位可)	AR	A

1. 構成(代表図)



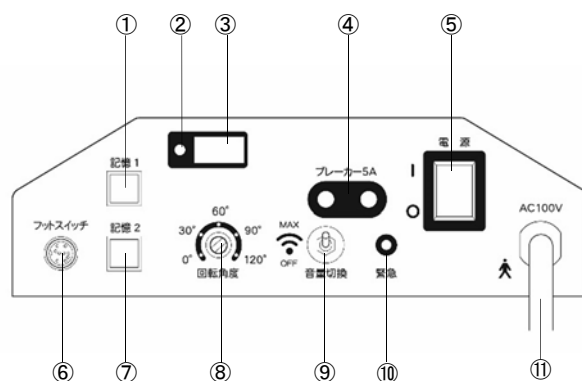
番号	名称	番号	名称
①	上部操作スイッチ	⑤	電源パネル
②	背板	⑥	肘受
③	腰板	⑦	支脚器固定バンド
④	座部	⑧	フットスイッチ受光部

●上部操作スイッチ詳細



番号	名称	番号	名称
①	背下降スイッチ	⑥	右開脚停止スイッチ
②	背上昇スイッチ	⑦	左開脚停止ランプ
③	支脚器閉脚スイッチ	⑧	右開脚停止ランプ
④	支脚器開脚スイッチ	⑨	安静体位スイッチ
⑤	左開脚停止スイッチ		

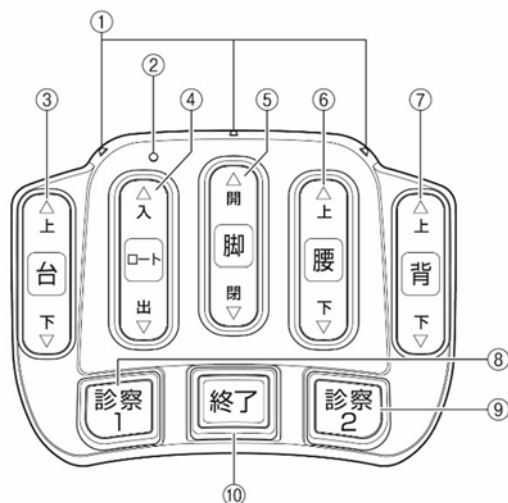
●電源パネル詳細



番号	名称	番号	名称
①	記憶1スイッチ	⑦	記憶2スイッチ
②	警報表示	⑧	回転角度調節ボリューム※
③	リモコンシステムコード表示/エラー表示	⑨	音量切換スイッチ
④	ブレーカー(5A)	⑩	緊急下降スイッチ
⑤	電源スイッチ	⑪	電源コード
⑥	フットスイッチコネクタ		

※固定式には、⑧回転角度調節ボリュームはない。

●フットスイッチ詳細



番号	名 称	番号	名 称
①	送光部	⑥	腰上昇/下降スイッチ
②	信号出カランプ	⑦	背上昇/下降スイッチ
③	台上昇/下降スイッチ	⑧	診察1開始スイッチ
④	ロート入/出スイッチ	⑨	診察2開始スイッチ
⑤	支脚器開脚/閉脚スイッチ	⑩	診察終了スイッチ

寸法・重量

寸法

回転式:幅 72 (転倒防止板+12) 奥行 123 高さ 133cm

固定式:幅 72 奥行 123 高さ 133cm

重量

回転式:約 178kg※

固定式:約 159kg

※回転式の重量は、転倒防止板を含めた重量である。

2. 電氣的定格

[AC 電源]

定格電圧:100V

周 波 数:50/60Hz

消費電力:350VA

デューティサイクル:最大連続駆動時間 6 分

停止時間 60 分以上

3. 機器の分類

- (1) 電撃に対する保護の形式による分類 クラス I 機器
- (2) 電撃に対する保護の程度による装着部の分類 B 形装着部

4. 作動原理

本品は電動で作動し、台の昇降、背板・腰板の傾斜、支脚器の開閉、および汚水ロートの出し入れができる。また、機種により検診台の回転ができる。

5. 安全機能

- ・作動中、フットスイッチのいずれかのスイッチを踏むと停止する。
- ・終了時の自動作動中、支脚器に障害物が当たる等で腰板が意図せず上がった場合、アラームが鳴って作動が停止する。

【使用目的又は効果】

本品は、泌尿器科領域の診察および処置時に、患者の体位を適切な位置に支持するために用いる。

【使用方法等】

1 診察体位の設定

- (1) 電源スイッチを ON にする。
- (2) 「診察 1 開始スイッチ」または「診察 2 開始スイッチ」を踏み、あらかじめ記憶された体位まで作動させる。
- (3) 希望する診察体位になるまで、フットスイッチで台の昇降、腰板・背板の傾斜、支脚器の開閉および汚水ロート出し入れの微調整を行う。
- (4) 本体ベース後面の電源パネルにある「記憶 1 スwitch」または「記憶 2 スwitch」を押し、設定した診察体位を記憶させる。
- (5) フットスイッチの「診察終了スイッチ」を踏み、患者の乗降位置まで自動作動させる。

2 診察等

- (1) 本品が患者乗降位置になっていることを確認し、患者を腰掛けさせる。
- (2) フットスイッチの「診察 1 開始スイッチ」または「診察 2 開始スイッチ」を踏み、記憶させた診察体位まで自動作動させる。
- (3) 診察等の終了後は、フットスイッチの「診察終了スイッチ」を踏み、患者の乗降位置まで自動作動させ、本品が確実に停止したことを確認してから患者を立ち上がらせる。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- 1) 本品の設置をする際は、ベースストッパーを回して確実に固定すること。また、転倒防止板(固定タイプは除く)を確実に固定すること。
[転倒や移動などにより、破損やけがの原因になる。]
- 2) 本品の作動電圧範囲(AC100V±10%、50/60Hz)以外の電源では使用しないこと。
- 3) 電源コンセントは本品の近くで、電源コードに人が触れない位置を選び、機器 1 台ごとに専用のコンセントを用いること。
また、電源コードは、正しくアースされた 3 芯接地型コンセントに接続すること。
- 4) 絶対に延長コードを使用しないこと。
- 5) 本品が正常に作動しないときは、すぐに使用を中止すること。
[過熱して火災や感電の原因になる。]
- 6) 台を作動させるときは、作動範囲内の安全を充分に確認してから操作すること。
[けがや故障の原因になる。]
- 7) 背板・腰板の傾斜、支脚器の開閉、あるいは汚水ロートの出し入れなどを作動させるときは、作動範囲内の安全を充分確認してから操作すること。
- 8) 自動作動を停止させるときは、フットスイッチでのいずれかのスイッチまたは、上部操作スイッチの背上昇/下降および支脚器開閉/閉脚スイッチのいずれかを押すこと。
- 9) 座部、支脚器および肘受などの使用時には、それぞれが確実にロックされていることを確認すること。
[けがの原因になる。]
- 10) 汚水ロートに乗ったり、足をかけないこと。
[汚水ロートの破損や、けがの原因になる。]
- 11) 座部の両側面にある座部解除レバーは、安静体位時以外は使用しないこと。
[けがの原因になる。]

【保管方法及び有効期間等】

耐用期間:6 年[自己認証データによる]

保管条件:以下の条件下で保管すること。

保管温度 -20～45℃

相対湿度 10～95%(結露なきこと)

気 圧 70～106kPa

【保守・点検に係る事項】

【使用者による保守点検事項】

1) 点検

毎回の使用の前に、各 부품の基本的な機能作動を確認すること。また、3 ヶ月を目安に各機能の確認をすること。点検項目は取扱説明書を参照すること。

2) 清拭

清拭前には電源ケーブルをコンセントから外すこと。

工具を用いての分解は行わないこと。

プラスチックのカバーが施されている部分は取り外さないこと。

石鹸水等を少量含ませた柔らかい生地を使い清拭すること。

研磨剤を含む洗剤や洗浄液を使用しないこと。

清拭後は、湿気を柔らかい布などでふき取ること。

清拭中は本品を駆動させないこと。

3) 消毒

消毒液の一例として、下記の水溶液を使用することを推奨する。

塩化ベンザルコニウム水溶液(オスバン等)

塩化ベンゼトニウム水溶液(ハイアミン等)

クロルヘキシジン水溶液(ヒビテン等)

消毒液は必ず希釈し、原液のまま使用しないこと。

塩素系の消毒液を使用しないこと。

アルコールを含む消毒液を使用しないこと。

[各部のグリスを除去し、スムーズな作動を妨げる。また、機械部品の錆の原因ともなる。更に、機械内部に浸潤した場合、燃焼(着火)の原因ともなる。]

[クッション表面や光沢仕上げの部分はアルコール系の溶剤により傷が付く。]

消毒用スプレーは使用しないこと。

[スプレーの浸入、クッションによって覆われている機械的な部分に腐食を起こす原因となる。]

【業者による保守点検事項】

1 年に 1 度を目安に定期点検を実施すること。

詳細については弊社または納入業者にご相談ください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

*■製造販売業者

株式会社 武井医科光器製作所

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-2-12

TEL:03-3255-0711

■製造業者

アトムメディカル株式会社

〒338-0835 埼玉県さいたま市桜区道場 2-2-1

TEL:048-853-3661(大代表) FAX:048-853-0304(代表)

■販売業者

株式会社 武井医科光器製作所

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-2-12

TEL:03-3255-0711